

事務連絡 平成31年1月28日

院内がん登録に係る変更について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、がん診療連携拠点病院等で実施する院内がん登録については、「院内がん登録の実施に係る指針」（平成27年12月15日付け厚生労働省告示第470号）において、国立がん研究センターが提示する標準的な登録様式に準拠し行うとされております。

この度、「癌診療連携拠点病院等院内がん登録標準登録様式 2016年版」のうち、下記1, 2に該当する部分について内容を変更しますので、お知らせ致します。また併せて、その他、一部のルールについても下記3, 4のように変更致します。

院内がん登録実務者の皆様におかれましては、下記変更事項をご確認いただき、2019年登録症例からご採用いただくようお願い致します。

記

1. 標準登録様式 2016年版 項目番号 320：病理診断《形態コード》の一部変更

・ICD-O-3局在と形態に対するコーディングガイドライン「ルールF」を採用する。

※ルールF…「ICD-Oに該当する診断用語が記載されていなくとも、適切な性状コードを5桁目に割り当てる。」ルール。

詳しくは、国際疾病分類腫瘍学（NCC監修）第3.1版 ICD-O局在と形態に対するコーディングガイドラインを参照のこと。

2. 標準登録様式 2016年版 項目番号 740及び745,746：放射線療法の【定義】の一部変更

・放射線療法の定義を変更し、腫瘍に対して放射線療法が行われた場合、その目的に関わらず「放射線療法 あり」とする。

3. 固形腫瘍における形態コード6桁目（分化度）に関するコーディングルールの変更

・固形腫瘍における形態コード6桁目（分化度）は、2019年登録症例から、癌腫によらず「1.3」「1.2.3」「1.2.3.4」に統一する。

<2018 年登録症例まで>

表現	6 桁目 (乳腺/前立腺)	6 桁目 (その他)
Low grade	1	2
High grade	3	4

表現	6 桁目 (乳腺/前立腺)	6 桁目 (その他)
Low grade	1	2
Intermediate grade	2	3
High grade	3	4

表現	6 桁目 (乳腺/前立腺)	6 桁目 (その他)
Grade I / well differentiated	1	1
Grade II / moderately differentiated	2	2
Grade III / Poorly differentiated	3	3
Grade IV / Undifferentiated	4	4

<2019 年登録症例から>

表現	6 桁目 (すべての固形腫瘍)
Low grade	1
High grade	3

表現	6 桁目 (すべての固形腫瘍)
Low grade	1
Intermediate grade	2
High grade	3

表現	6 桁目 (すべての固形腫瘍)
Grade I / well differentiated	1
Grade II / moderately differentiated	2
Grade III / Poorly differentiated	3
Grade IV / Undifferentiated	4

4. ポリープ内癌の形態コード（8210/_、8261/_、8263/_）を不使用とする

・ポリープ内に認める癌の形態コードについて、2018年登録症例までは“ポリープ内にある”という情報を優先し、8210/_、8261/_、8263/_を用いることしていたが、2019年登録症例からこれらの形態コードを用いないこととし、ポリープ内にある癌であっても、その癌の組織型から形態コードを決定する。なお、診断名が“ポリープ内癌”のみ、つまりポリープ内に認める癌の組織型に関する情報が得られない場合は、8140/_を用いる。

例) ポリープ内の管状腺癌

(2018年登録症例まで) 腺腫性ポリープ内腺癌 8210/_

(2019年登録症例から) 管状腺癌 8211/_

以上

(問い合わせ)

国立がん研究センター がん対策情報センター

がん登録センター 院内がん登録室

担当 江森 佳子、塚田 庸一郎、東 尚弘

TEL:03-3547-5201 内線:1625

E-mail ncc_hcr@ml.res.ncc.go.jp